

2025(令和7)年度

「人権が尊重される三重」をつくるこどもサミット



2025(令和7)年12月24日(水)

10:30~15:20

三重県総合文化センター 多目的ホール

にっ てい 日 程

- 10:00～10:30 参加者・参観者受付
- 10:10～10:20 司会者打ち合わせ（全体司会・グループ司会）
- 10:30～10:40 開会行事
- 10:40～10:50 各グループで自己紹介
- 10:50～11:25 各研究校の「人権尊重の意識を広める活動」報告Ⅰ（中学校）
- ① 松阪市立久保中学校
 - ② 伊勢市立桜浜中学校
 - ③ 熊野市立木本中学校
- グループで感想交流Ⅰ
- (11:25～11:35 休憩)
- 11:35～12:20 各研究校の「人権尊重の意識を広める活動」報告Ⅱ（小学校）
- ① いなべ市立藤原小学校
 - ② 朝日町立朝日小学校
 - ③ 亀山市立神辺小学校
 - ④ 名張市立比奈知小学校
- グループで感想交流Ⅱ
- (12:20～13:20 昼食、休憩、全体意見交流に向けての学校別打ち合わせ)
- ※多目的ホールのフロアのみ飲食可
- 13:20～13:55 各研究校の「人権尊重の意識を広める活動」報告Ⅲ（県立学校）
- ① 県立特別支援学校西日野にじ学園
 - ② 県立相可高等学校
 - ③ 県立上野高等学校
- グループで感想交流Ⅲ
- (13:55～14:10 休憩、全体意見交流に向けての学校別打ち合わせ)
- 14:10～14:25 グループで意見交流（全体意見交流に向けての打ち合わせ）
- 14:25～15:10 全体意見交流
- テーマ「差別のない社会をつくるためにわたしたちにできること」
- 15:10～15:20 閉会行事
- (15:20～15:30 アンケート記入)

まつさかしりつくほちゅうがっこう 松阪市立久保中学校

地域との意見交流会（社会的活動）

活動のねらい

「E L H の会」で取り組んだ学習を発表し、大人と共に差別・いじめをなくすために自分にできることを考えること」としました。

参加者

久保中学校の保護者の方、まちづくり協議会の方、公民館長さん、第二隣保館長さん、元自治会長さん、人権擁護委員さん、地域で差別解消に向けて取り組んでいる方々に参加していただきました。

活動内容

E L H の会の活動発表では、多文化共生、障がい者の人権、部落差別について学んだことを発表しました。意見交流では、「E L H の会の活動発表を聞いて、発表に取り組んで、印象に残ったこと」について交流しました。また、自分の中にあるもやもやについても交流を行いました。今後に向けての交流では、「差別をなくすために、自分たちにできること、これからの社会にのぞむこと」について話し合いました。

感想

- ・今後もこのような交流がつついていくと地域全体で人権を守る雰囲気が強まると感じた。（地域の方）
- ・同じ思いを持った地域の人がいることを知れて安心した。心強く感じた。（中学生）

「E L H の会」

久保中の人権サークル

- ・イクオリティー（平等）
 - ・リバティー（自由）
 - ・ヒューマンライツ（人権）
- の頭文字をとった名称



メモ欄（必要があれば使ってください。）

いせしりつさくらはまちゅうがっこう 伊勢市立桜浜中学校

ねんせいじんけんがくしゅう 2年生人権学習

- 部落差別についての学習
- 大阪多様性教育ネットワークの土田光子先生の授業
- 自分のこと、クラスのこと
- 人権について家族と話し合う（社会的活動）

つちだみつこせんせいじゆぎょう 土田光子先生の授業

- ・自分という人間はどんな存在なのか、自分自身に問いかける
- ・「自分の中に隠したいことがあって、これを打ち明けたら周りに変だと思われるのではないかと考えている人が隣に座っているかもしれない。その子のことをどうにもできずに何が人権学習だ！」
- 「苦しいことを吐き出したら楽になる。吐き出したらいい」
- ⇒一人ひとりがそれぞれの思いを文章にし、クラスで交流

じんけんかぞくはなあ 人権について家族と話し合う

いちれんじんけんがくしゅうかぞくはなあ
一連の人権学習を家族に話しました。家族は私たちの話を真剣に聞いてくれました。そして、一緒に考えてくれました。

《家族からのメッセージ》

「人のうわさをすぐ信じて偏見を持ったり、住んでいる地域によって安心して暮らせなかったり、何もしていないのに差別をされるのはおかしい。自分はそんなことをせずにちゃんとその人と向き合っていくことが大切だと思う」と話してくれました。これからいろいろな人と出会っていく中で、「変だな」とすぐ否定するのではなく、「そういう考え方もあるんだな」と受け入れられる姿勢ができればすてきだなと思います。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

くまのしりつきのもとちゅうがっこう 熊野市立木本中学校

木本中学校区人権フォーラム

小学生（6年生）、中学生、地域の方々が集まり、中学校2年生が人権作文と人権劇「みんなでつなぐ声／同じ空の下で」を発表しました。その後、12のグループにわかれ、中学生が司会をし2つの課題について話し合いました。

グループワーク① 外国にルーツがあるダイゴさんは、「英語の勉強は苦労しないだろう」「サッカーがうまい」「外国がルーツなのに、日本人のように根性がある」とまわりから言われます。まわりはダイゴさんを褒めているつもりですが、本人からすれば外国にルーツがあるという理由からくる決めつけに苦しみます。2年生の劇のワンシーンから、「褒めてるのに、なんで？」に対して自分なら何と答えるか考えました。

グループワーク② Aさんから「ねえねえ、聞いたんやけど、Bさんってね、Cさんのこと嫌いらしくって、みんなに悪口言ってるらしいよ。最低やよね。Bさんと話すのやめておかない？」と言われたら、自分ならこの後どう行動するか考えました。

2つのグループワークを通して、自分をふりかえることや自分で確かめることの大切さに気づくことができました。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

しりつふじわらしょうがっこう いなべ市立藤原小学校

「みんな仲良し、

藤原小人権宣言を守り、日本一のあいさつを
めざす最強な藤原小学校」

藤原小学校は9年前に5つの小学校と
中学校が合併してできた小中一貫校です。

広い校区には、小さい子からお年寄り、障がいのある方や外国につながる方など、様々な立場や考えの人が住んでいます。「誰もが安心して過ごせる」という思いをこめて「あいさつ運動」に取り組んでいます。

人権の花が咲き誇る町へ

私たちは人権学習を通して誰もが安心できる
学校生活について考える中で、自分たちが多くの
地域の方にお世話になっていることに気づきました。
地域の方をお招きして「全校人権フォーラム・
地域の方に感謝を伝える会」を開き、人権について
考えたことを発表したり、感謝の気持ちをこめて
育てた花を渡したりしました。



目標達成に向けた主な取組

- ・藤原小人権宣言
- ・「あいさつレンジャー」
→ 中学校や地域にも発信
- ・「めざせアンパンマンスマイル」

6年生の人権の取組

- ・藤原学（地域学習）
- ・パラアスリートの方との出会い学習
- ・三重県人権教育研究協議会
の方との出会い学習
- ・人権フォーラム、全校フォーラム
（感謝を伝える会）

地域の方より（感謝を伝える会）

みんなが学んでいる歴史は、人権拡大の歴史なんだよ。自分も6年生の頃、ものすごい男女差別や障がい者差別を目の当たりにしてきた。ええ時代になって、みんな「人権を大切にしやなあかん」って思っているけど、心の奥底に弱い心を持っている。だから、いつも自分を見つめ直してほしい。

メモ欄（必要があれば使ってください。）

あさひ ちょうりつあさひ しょうがっこう 朝日町立朝日小学校

出会い学習から学んだことを広げよう

出会い学習での伊藤玲江さんのお話を聞いて「心に残ったこと」について、12月1日の「朝日っ子人権フォーラム」で、人権擁護委員さんを交えて話し合いをしました。自分の中にある偏見や思い込みを振り返ったり、自分にできることについて考えたりしました。6年生からは、「自分のことを語る大切」「自分を見つめ直して気づいたことなど、みんなで考えることが大切」などの意見や感想がでました。人権擁護委員さんからは、「誰もが友だちの話をはなしをわかってもらう姿が見られたことを嬉しく思った」「一緒に人権について考えることができる朝日町の強みを生かす」「地域の人と子どもたちが交流する場を広げることが大切」などの意見をいただきました。

話し合ったことやこれから朝日町で大切にしていきたいことを校内で伝える活動や、「朝日人権標語」にして役場に貼るなど、人権が尊重される地域をつくる取組をしていきます。

6年生出会い学習

反差別・人権研究所みえの原田朋記さん、地域で差別解消に向けて活動している伊藤玲江さん、本校教員の洪和樹さんとの出会いから学びました。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

かめやましりつかんべしゅうがっこう 亀山市立神辺小学校

「全学年人権授業参観」

10月1日（水）保護者・地域の方を招き、全学年人権授業参観を行いました。参観した6年生の保護者からは「アンコンシャス・バイアスという言葉を知った。家で子どもと一緒に今日の学習について話をし、自分事として振り返りたい」という言葉をいただきました。

- 1年生：自分のできることに挑戦しよう
2年生：誰もが安心して学校生活を送るために
3年生：ブラジルの文化を知ろう
4年生：障がい者の人権について考えよう
5年生：ジェンダーについて知ろう
6年生：アンコンシャス・バイアスについて知ろう

「ヒューマンフェスタin亀山」

12月6日（土）4年生が「ヒューマンフェスタin亀山」で、視覚障がいのある中川桃子さんとの出会いを通して学んだことや、県立盲学校に行き学んだこと、中川さんと一緒に亀山市立図書館に行き、図書館にあるユニバーサルデザインの改善点などをまとめた意見書を提出したことなどを、地域の方に向けて発信しました。地域の方からは、「よく勉強しているね」「今後、自分たちの学校でどのように取り組んで行くの？」などの感想や質問をいただきました。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

なほりしりつひなちしょうがっこう
名張市立比奈知小学校

伝えよう 私たちの思い つながろうなかま (社会的活動)

6年生44人が、部落問題を中心に人権学習に取り組む中で、自分を見つめ直して気づいたことや考えたことをもとに、比奈知文化センター職員、学校運営協議会委員と共に意見交流しました。当日は、中学校区人権教育推進協議会会員にも参観していただきました。6年生からは「今まで学んできたことを自分たちの言葉で伝え、認めてもらえたことがうれしかった」、地域の方からは「自分の思いをなかまに伝えられるのはすごいと思います。これからも続けてください」という感想がありました。



●差別をなくすために地域で活動している方々との出会い学習

合田正志さんとの出会い

「差別を残す側か、差別をなくす側か」と問われた。自分は、差別をなくす側であり続けたい。

藤本佐利さんとの出会い

「ヒソヒソ話はひきょう者のすること」「部落差別は差別する側の問題」と知った。差別をしない、差別をなくす行動をしたい。

いじめをなくす立場になるために

「いじめに関係ない人はいない」とわかった。いじめに気づき、なくしていきたい。

全国水平社の創立の学習 (ツラッティ千本: 修学旅行)

部落差別に負けずに立ち上がった人たちが団結し、自分たちの力で差別をなくそうとした。この人たちのように自分も仲間と一緒に差別をなくしたい。

メモ欄 (必要があれば使ってください。)

けんりつとくべつし えんがっこうにしひ の がくえん 県立特別支援学校西日野にじ学園

にしひ の がくえん かつどう ～西日野にじ学園のサークル活動について～

ほんこう しょうがくぶ ちゅうがくぶ こうとうぶ あり、はばひろ ねんだい じどうせいと います。じんけん サークルでは、じんけん について 興味を持ってもらったり知ってもらったりするために、さまざま かつどう と 取り組んで います。じんけん C M や じんけん カルタ を 作成するなど、あそびながら じんけん について 知ってもらえるように 工夫 しています。その他にも、ほかに 市内の3校の高校生と一緒に、「花いっぱい運動」に取り組んでいます。いっしょに 過ごす 街が きれいで 安心して 過ごせる 場所になるように という 思いで、はな を 植えた プランター を 西日野駅に 設置 しました。

さべつ みらい わたし ～差別のない未来をめざして私たちにできること～

ほくせい ちく こうこうせいじんけん じつこういんかい まな
北勢地区高校生人権フェスタ実行委員会で学んだことをもとに、いまわたし 今 私 たちに できる こと について 考え ました。とくべつし えんがっこう かよ 特別支援学校に通う わたし 私 たち だけ から こそ 日々 感じ ている こと や 辛 かった 過去 の 話 について 発信 しようと、はっしん 学校の先生や地域の方が集まり、さべつ 差別のない しゃかい 社会を築くために いっしょに 学び、かんが 考え、きょうゆう あい 共有し合う 三重県人権・同 和 教育研究大会で 発表 を しました。そして、こうない 校内の先生たちにも 知 ってもらいたい と思い、がつよつか 研修会 を 行 いました。



らん ひつよう つか
メモ欄（必要があれば使ってください。）

けんりつおう か こうとうがっこう 県立相可高等学校

人権フィールドワークの取組～大阪府立西成高校の取組から学ぶ～

本校では毎年、人権フィールドワークを実施しています。今年度の学びのテーマは「子どもの人権」「子どもの貧困」です。このことについて、先進的な取組をされている大阪府立西成高校を訪れ、そこでの学びをもとに、問題解決に向けて私たちが取り組んだ活動について報告します。

大阪府立西成高校での学び

事前学習を行い、私たちに西成地区のことを学び、西成高校を訪問しました。講演や靴づくり部の取組などから西成区の歴史や、差別解消に向けた西成高校の活動について学ぶことができました。また、本校の人権講演会では、西成地区で「こどもの里」を運営する庄保共子さんにお話しいただき、学びを深めることができました。

さまざまな場で学びを発信

地区別人権学習活動交流会（松阪地区）、人権まなびの発表会、多気中学校区人権フォーラム、自校の文化祭などで、校内、他校、地域の方々へ私たちの学びや気づきを発信し、人権を尊重することの大切さを多くの人と確認することができました。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

けんりつうえのこうとうがっこう 県立上野高等学校

地元の「みんな」と人権について考える

上野高校人権サークル「ひゅうまんはあと」です。私たちは、学校の中と外で、子どもとも大人とも一緒に、いろいろな活動をして、それらを通して人権について考えました。その一つひとつの活動の様子を報告し、そこで私たちが思ったことや考えたことを発表します。

○先生や保護者と

学校の先生たちと一緒に、自分たちの高校の人権学習の内容について考えました。また、文化祭では、保護者のみなさんと一緒に活動しました。



○小学生・中学生と

崇広中学校区の小学生や中学生と一緒に、アクセサリをつくったりイベントに参加したりしました。また、大山田小学校6年生と交流し、人権学習で学んだことや互いの学校生活のことを話し合いました。



○地元の青年と

地元で人権活動をしている青年の方々と交流し、互いの活動の内容や人権活動への思いを話し合いました。



メモ欄（必要があれば使ってください。）

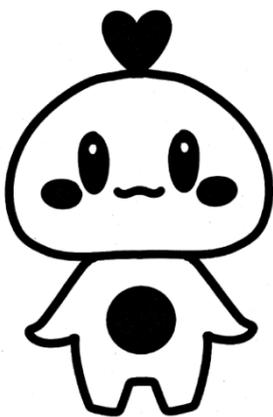
かかがっこう しょざいち
 ☆ 各学校の所在地



＜人権尊重の地域づくり＞

「人権尊重の地域づくり」とは、子どもが生活の基盤を置く家庭や中学校区程度の範囲の地域において、学校が行う人権教育に係るさまざまな取組を肯定的に受容するような家庭や地域の基盤をつくり、子どもと保護者、地域住民等と一緒に活動に当たることを通じ、これらの人々の間に人権尊重の意識を広めることです。

「三重県人権教育基本方針」より



差別のない社会の実現に向けて

人権を大切にするキャラクター「はびまる」

デザイン：県立松阪商業高等学校SPB同好会